

大事協だより

大島地区公立小・中学校
事務職員協会 研修部
第54号
2016年10月28日発行

第2回大島地区事務職員研修会お疲れ様でした。
さて、長い2学期も折り返し地点となりました。年末調整等しっかりとこなしていきましょう。

- * 大事協は次のような意義のもと
設立・活動しています
- * 御確認をお願いします



＜協会設立の基本理念に則り、
更なる発展を目指して活動する。＞

- ① 大島地区小・中学校事務職員全員参加の「輪(わ)＝会」を目標とする。
- ② 本会は、地区内の緩やかな繋がり・親睦・融和・資質向上を目指す。
- ③ 大島地区内における情報交換の場とする。
- ④ 実務研修の充実を図る。

＜各地区からの便り＞

今回の原稿は、①和泊町 ②宇検村 ③奄美市東部ブロック ④奄美市西部ブロックから届きました。また、多くの支援室だよりも提供していただきました。ありがとうございました。

①和泊町事務職員部会

和泊町立国頭小学校 脇田 綾香

みなさん、こんにちは。和泊町事務職員部会です。

小学校4名、中学校2名の計6名で構成されています。今年度は、メンバーの入れ替わりもなく昨年度と同じ6名のメンバーでスタートしました。

研修会は、年7回の町内研修と知名町との両町研修会年3回を計画しています。また、毎年、和泊町・知名町の両町合同で管外研修視察を行っています。昨年度は、薩摩川内市と鹿児島市、始良市へ視察を行い、共同実施の状況や財務事務取扱規程、中高一貫教育に伴う学校の特色、施設等について研修をしました。今年度は、東串良町と志布志市の学校へ視察を予定しています。

本町は、今年度「学校の教育目標を実現し、学校の活性化を支援する事務職員」～スタートアップマニュアルの作成に向けた取組～を研修テーマに掲げています。研修の充実を図るため、工夫と改善に向けてベテランの先生方と新採の意見交換を更に積極的にできればと思っています。

共同実施は、月に2回設けられ、基本は、諸手当認定や当面の業務内容や通知文の再確認、各回で定めたメインテーマ（教育支援や町費の標準化、経験者によるレポート等）について、その他質問等の流れで行われています。

本町の支援室はありがたいことに、質問に対して的確な答えやアドバイスが返ってきたり、様々な意見交換の

場になったりと、アットホームな環境でご指導いただきながら共同実施を進めることができています。

これからも、お互いに協力をしながら研修を行いたいと思います。

②宇検村事務職員会

宇検村立田検小学校 中園 仁美

こんにちは、宇検村事務職員会です。

宇検村は奄美大島南端に位置し、奄美最高峰の湯湾岳と焼内湾を有する自然に囲まれた村です。小学校4校、中学校4校、うち3校が小中併設となっています。

事務職員は経験豊かな50代の職員2名、新採2年目1名の計3名で構成されていることから、月2回開催する支援室では協議や質疑応答を中心に、経験の浅い職員への研修も積極的に行っています。

平成28年度は「村の環境に即した適正な事務の模索」を研修テーマに、村費事務の効率化と学校間の連携向上をめざしています。

特に、各校が湾を囲うように配置されている地理的環境から四半期ごとの相互自主点検では2日を要していましたが、職員の手当状況・実績手当の集計確認表などの様式を作成・共有することで検査を1日に短縮するなど、試行錯誤して改善を図っています。

この他にもビデオ通話活用の研究や、年3回実施の村研修会では村教育委員会に参加してもらい共通理解の場を設けるなどの取組みを行っています。

3名という少人数ではありますが、少人数ならではの連携を活かして日々「宇検村の子どもたちのため」を目標に活動しています。

③奄美市名瀬東部地区学校事務支援室

奄美市立奄美小学校 中村 三好

本支援室は、「拠点校」名瀬中、「連携校」奄美小、小湊小、大川小・中、崎原小・中各学校の事務職員5人で構成されています。「室長」は名瀬中学校事務職員、「執務室」は奄美小学校にあります。

平成28年3月16日、沖縄県石垣市における共同実施グループの代表6名の訪問を受け、「離島における共同実施」のあり方を中心に情報交換を行いました。沖縄県における予算担当者としての「市費負担事務職員」の位置づけ（役割）、また宮古島、石垣島等離島を多くかかえる人事交流の課題等について、主に奄美市における状況と比較しながら意見交換を行うことができました。

平成28年7月27日、連携校（崎原小・中学校）

学校長の依頼を受け、鹿児島県教育委員会給与等事務取扱要領第8条の規定による「自主検査」について、本支援室による補助業務に従事しました。当日は、該当校教頭先生の進行により、自主検査報告書（平成28年度第1四半期分）の検査事項の内容に基づいて、関係帳簿類の照合や内容の確認を行いました。日程の関係で各校それぞれ年1回程度の業務になりますが、検査者（学校長）と具体的な検査の進め方や内容にかかわる疑義について協議しながら、実効ある自主検査のより一層の促進を図る事ができるものと思います。

今後とも、学校運営への積極的な支援を通して、学校教育の充実に資することをめざして、学校事務支援室の業務に専念したいと思います。

④奄美市名瀬西部地区事務支援室 奄美市立芦花部小中学校 牧野田 春乃

こんにちは。奄美市名瀬西部地区学校事務支援室です。今年度は、人事異動により3名の入れ替わりがありました。昨年度同様経験年数ではバランスのとれた構成で、10校10名でスタートしました（うち1名は共同実施加配、1名は2校兼務です）。

本支援室は、月2回程度、執務室のある金久中学校事務室で業務を行っています。連携校が多く、県費職員を200人抱えているため、特に、年度当初の認定事務（今年度は81件）と四半期ごとの自主検査については、中学校区を基準とした、上方地区（朝日中・朝日小・芦花部小中）、中央地区（金久中・名瀬小・伊津部小）、下方地区（小宿中・小宿小・知根小）の3地区に分け実施しています。そのほか、県費の給与・旅費事務、市費事務、就学援助事務における事例研修、物品購入数の少ない小規模校の購入単価を落とす効果がある消耗品・備品の共同入札等行っています。

また、発足5年目を迎えた今年度は、新たな業務の研究に本腰を入れて取り組み、給与・福利厚生に係る職員用リーフレットを作成しています。現在、リーフレット「やったあ給与♪明細書を楽しく見よう！」の検討をしているところです。議論を重ねる中、よりわかりやすく見やすいものにバージョンアップされつつあります。完成次第、他のリーフレットも作成していく予定です。

月2回の共同実施ではありますが、認定事務に始まり、あらゆる分野で特殊事例を含めた内容の濃い発表が多々あり、活発な質疑等が飛び交う中にも、なごやかに楽しく気兼ねない意見交換ができる雰囲気の中で業務を行っています。これからも支援室業務を広げつつ、名瀬西部地区らしい共同実施ができるよう、10名一丸となって頑張っていきたいと思っています。今後ともよろしくお願ひします。



スポーツの秋ですね
浦和レッドダイヤモンズ
ルヴァンカップ優勝おめでとう！



(C) URAWA REDS

～平成28年度新規採用者より～

天城町立兼久小学校 及川 和加代

4月初めの新人研修は何の知識もなく参加したので、内容を理解するのが精一杯で、5月の地区全体の研修の時も諸先輩方の活発な意見交換に圧倒されました。さすが、「大先輩達は質問の内容が違うなあ」と感心。どちらにしても、難解な事だらけで、目まぐるしい4・5月は、事務支援室のおかげで、何とか乗り越えることができました。いつも、丁寧に対応し、指導していただき、有り難く思います。提出期限に追われ、余裕がなく過ぎた三ヶ月。少し落ち着いてきたので、校内の施設・備品・消耗品の管理にも目を向けて取り組んでいこうと思います。

兼久小学校は、「新校舎落成・創立120周年記念事業」も始動しましたので、事務職としての知識を深め、健康管理をしながら一層励んでいこうと思います。

奄美市立金久中学校 前田 里穂

奄美市立金久中学校へ赴任してから半年を過ぎようとしています。4月より、事務職員として赴任することが決まったとき、自分にさまざまな事務処理が出来るのかと、とても不安な気持ちでいっぱいになりました。しかし、同じ金久中の事務の先生や支援室の先生方からたくさんの教をいただき、仕事への不安が着々と消えていっています。

今年の3月まで3年間、教職員であった私は、今、事務職員としての仕事をしながら、事務の先生は教職員にとってとても必要な存在だと改めて実感しています。仕事の内容ががらりと変わってしまいましたが、事務の仕事にやりがいを感じています。

まだまだわからない事がたくさんありますが、これからも周りの先生方からたくさんの教えやご指導をいただきながら、教職員の先生方が気持ち良くお仕事出来るように「縁の下の力持ち」として楽しみながらがんばっていこうと思います。ついでに最近ハマっている釣りもがんばるぞー！



- * 今回、知名町が原稿集約・編集をしてくださりました。ありがとうございました。
- * 第55号は、編集担当が和泊町、原稿提出が伊仙町、奄美市笠利ブロック、大和村、龍郷町となっています。よろしくお願ひします。

↓レッズ公式マスコットのレディア君（とその嫁）

Jリーグマスコット総選挙2016では39キャラ中39位。がんばって!!ちなみに、浦和の「真剣勝負の場だから」という硬派な方針により露出が極端に少なくて、会えたらラッキーなレアキャラらしいです。